２０２０年度　ケーブルテレビ放送番組審議会
（館林チャンネル）
議事録

１．概要

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書類による審議

審議資料を郵送し回答を求め、審議委員総数 16 名のうち 13 名から回答がありました。

２．審議委員（敬称略）

須藤　和臣	会　長	（館林市長）
栗原　実	副会長	（板倉町長）
冨塚　基輔	委　員	（明和町長）
高橋　純一	委　員	（千代田町長）
金子　正一	委　員	（邑楽町長）
正田　隆	委　員	（館林商工会議所会頭）
小池　敏郎	委　員	（板倉町商工会会長）
石倉　利昭	委　員	（明和町商工会会長）
高野　広	委　員	（千代田町商工会会長）
中繁　基	委　員	（邑楽町商工会会長）
福地　保幸	委　員	（館林地区消防組合消防本部消防長）
梁瀬　充治	委　員	（館林市区長協議会理事）
青木　文雄	委　員	（板倉町行政区長会会長）
山本　樹	委　員	（まちづくりを考える研究グループ代表幹事）
猪熊　妙子	委　員	（館林市教育委員会教育長職務代理者）
景山　初女	委　員	（板倉町教育委員会教育長職務代理者）

３．報告事項

【全体】

（1）新委員の委嘱に関する報告

（2）放送エリア及び加入状況に関する報告

（3）ケーブルテレビの主な取り組みに関する報告（2020 年度）

（4）昨年度の審議会でのご指摘・進捗状況報告

【コミュニティチャンネル関連】

（1）2020 年度館林チャンネルに関する報告

（2）主なレギュラー番組に関する報告（2020 年実績）

（3）特別番組に関する報告

４．議事

（1）事前に視聴をお願いした番組に関する意見・質問

【対象となる番組】

〈ニュース〉　「ぐんま HOT ステーション」（2020 年 11 月 20 日放送）

〈企画番組〉　「名人直伝！わがまち音頭」（2020 年 8 月放送）

〈企画番組〉　「空から地元を見てみよう」（2020 年 12 月放送）

〈コロナ対策〉「おうちいんぐりっしゅ！！」（2020 年 5 月放送）

質問・回答

■「ぐんま HOT ステーション」（2020 年 11 月 20 日放送）

【委　　員】地域の話題や身近な情報など、とても興味深く見ることができる。近隣地域の情報もあり、行ってみようかなと思うような地域交流にもつながると思う。

【委　　員】毎週金曜日に地域で活躍している人や団体をスタジオにゲストに迎えると、より身近なケーブルテレビという認知が進むと思う。

【委　　員】30 分番組にして、より情報を充実させてほしい。

【委　　員】技術的にも大変な生放送・中継をはじめリアルタイムで地域におけるイベントや生活に必要な情報が放映され、地域の魅力ある出来事がよく伝わる内容。

【委　　員】イルミネーションの中継や、館林高校野球部、里沼とダークダックス記念館など、地域の情報が見られて大変よかった。

【委　　員】「ぐんま HOT ステーション」での生中継は、生放送に合う時間帯の話題があれば、千代田町での実施も検討していただきたい。

【委　　員】キャスターの声が聞きやすい。地元の話題なので、安心して視聴できる。

【ＣＡＴＶ】ニュースに関しては身近な情報が求められていること、また皆様にとって身近なメディアであるべきということを再認識いたしました。取材活動に力をいれるとともに、番組時間や中継内容について検討しさらに充実した情報の発信に努めて参ります。

■「名人直伝！わがまち音頭」（2020 年 8 月放送）

【委　　員】各市長・町長の思い出話が楽しかった。踊っている様子や音楽に、見ている方もわくわくした気分になった。

【委　　員】地域の伝統、行事を知ることは視聴者にとって大切なこと。今後も各地域の伝統、歴史についての特集をお願いしたい。

【委　　員】自分の町に自慢と誇りを持つために、郷土を愛する町民から自然と湧き上がって出来たものと確信できた。夏祭りが近づいたら多く放送したらよいと思う。

【委　　員】踊り手にとっては祭りという発表の場がなくなり残念だったが、各地にいるその道の名人やそこに集う愛好者たちの姿が生き生きと紹介されていた。

【委　　員】これ以外の分野・テーマでの番組制作も期待したい。

【ＣＡＴＶ】地域の歴史や文化、人々の郷土に対する誇り・愛着などを今後も取り上げ、番組として後世につないでいければと考えています。

■「空から地元を見てみよう」（2020 年 12 月放送）

【委　　員】大変興味深く見たが、若干のナレーションやテロップで名所の案内をしてもらえると、さらに良かったと思う。

【委　　員】普段見ることのできない新しいアングルからの幻想的な映像で、地元の魅力を再確認でき、視聴者にも新鮮に映ったと思う。

【委　　員】白鳥の目からはこんな風に見えているのかもしれないと思って見入った。美しい風景は見ていて楽しく、新しい発見が多かった。

【委　　員】１市４町の特徴のある風景や場所なども空撮していただけるとありがたい。

【委　　員】プライバシーを遵守しながら、より詳細な映像が観たい。

【委　　員】これはドローンで撮影？ヘリコプター？空から見る風景は普段と違って良い。非常にきれいに撮影されていて感動した。

【ＣＡＴＶ】小型のドローンで撮影いたしました。所有・操縦ともに自社で対応しておりますので、今後も多くの風景を撮影・放送して参ります。

■「おうちいんぐりっしゅ！！」（2020 年 5 月放送）

【委　　員】たくさんの先生が外国から来られていることがわかる。ALT の先生も番組を通して、より伝わりやすい話し方、見せ方などに気付けたのではないか。

【委　　員】休校の中、ALT の先生の顔が見られたこと、英語に触れる機会があったことは子どもたちにとって、ほっとした時間だったのではないでしょうか。

【委　　員】テロップ（英語）を入れたほうがわかりやすいと思う。

【委　　員】字幕翻訳が入ると、両親や祖父母などの高齢者の方たちと一緒に視聴することで、例えば「“How are you”はごきげんいかがっていう意味なんだねぇ」といった家族間のやり取りが生まれるなど、ちがった効果も期待できるようになると思う。

【委　　員】英語の勉強はもちろん、久しぶりにALTの先生方の元気そうなお顔が見られて、生徒も嬉しかったと思う。先生方もゆっくり話して下さり英語もわかりやすく、字幕で訳がなかったのが良かった。

【委　　員】ALTの先生達に親近感を覚え、楽しく拝見した。次のステージに進んだ企画があれば、また観たいと思う。

【ＣＡＴＶ】コロナ禍において、休校中の児童やALTの先生方をつなぐという点で、館林市教育委員会の協力のもと制作、YouTubeでも配信しました。対面での学習が難しい場面において、弊社の使命や可能性を見出した番組となりました。

■その他視聴番組全体に関する意見・質問

【委　　員】題材を確保するため、きめ細やかな情報収集と併せ、地域の人や団体からの情報提供ルートの確保・開拓が必要かもしれません。地道ではあるが、このようなことをアピールしていくことで、加入者の増加にもつながればよい。

【委　　員】芸術や製造を始めとする様々な分野で、名人と呼ばれる人がいる。マイナーなジャンルのものも含め、各界の名人が紹介されることで、たくさんの人に広い視野を持ってもらう事ができ、子どもたちを始めとする多くの人がこれから何かを始める際に、選択肢が多いことはとても意義があると思う。ぜひこれからも様々な分野に目を向けてほしい。

【ＣＡＴＶ】今後も地域に根差した番組作り、地域に特化した情報の発信を心がけてまいります。まだまだ取り組めていない番組、取り上げられていない話題があるので、制作スタッフ一同真摯に取り組んでいきます。

(2) コミュニティチャンネルに関する意見・感想

質問・回答

【委　　員】地域に密着したネットワークとして、住民に役立つ番組を提供する役割を担うコミュニティチャンネルについては、特に、郷土の文化、歴史、芸能、食、国際化などに関する番組を取り上げていただきたい。

【委　　員】地元に根差した身近な内容を届けることがケーブルテレビだと考えます。また、視聴する側もそれを望んでいると思いますので、今後も楽しい話題提供を

していただければと思います。また、生活安全情報や河川・道路のライブカメラ映像などの取り組みは、地域の安心安全に繋がっていると感じています。

【ＣＡＴＶ】ライブカメラは、増設や夜間対応カメラなどにリニューアルを実施しています。皆様にご活用いただけるよう、今後も整備に努めて参ります。

【委　　員】多くの消防行事や火災予防、救急救命の啓発に関する情報発信のツールが少なく地域の方に知っていただきたい情報を伝えるには、ケーブルテレビは非常に重要であると思う。コミュニティチャンネルでは知っている人の顔を見る事も多く、元気で活動している姿がわかるなど、ネットやスマホの利用に長けていない方々への情報伝達のツールとして大きな役割を担っていると思う。放送に値するかどうかのイベント内容等の案件の基準があれば、教えてほしい。

【ＣＡＴＶ】イベント等の取材のご依頼については、放送エリア内に関するものであればお伺いいたします。取材の１週間前までを目安に、お気軽に電話または FAX 等でご連絡いただければ幸いです。

【委　　員】番組は時流に沿ったものが求められると思いますが、今年度はコロナ禍をものともせずに行政情報に加え生活情報も取り上げながら、多くの優良な番組を制作されたことは、制作に携わる方の視点やセンスの結果だと思う。せっかくの良い番組を多くの人に見てもらえるよう、もっと加入率を上げていってほしい。

【ＣＡＴＶ】コロナの影響でイベントの中止や予定変更が相次ぎ、情報の確保が困難になるなど番組制作における様々な場面に直面しました。しかし地域の皆様による番組出演、情報提供などのご協力をいただき、新たな番組が生まれるなどの効果を実感できる機会となりました。今後も皆様との番組作り、ご加入者数の増加に向けて邁進して参ります。

【委　　員】非常時に一番知りたい身近な情報を得る事が出来るというのがケーブルテレビの強み。各避難所での放送も、一方的な情報ではなく、避難所からの投稿や動画などを視聴者に送って頂き、今何が必要か、どんな状況かなどタイムリーな情報を視聴者から得るのはどうか。また災害時などでも、避難所でケーブルテレビをとおした授業などもできるのではないかと考える。

【ＣＡＴＶ】動画・写真の投稿は、Twitter を使って集められるよう運用しています。災害時の放送においては、行政等からの情報に加えご提案の内容を実現できるよう、今後の課題として取り組んで参ります。

【委　　員】「う・ら・ら 」は、地域のお店、企業、サークル活動の紹介役に立っている素敵な番組だと思う。

【委　　員】見始めたころと比べ、全体的にカメラワークなどの工夫がされ、カメラマン、編集者の日々の研鑽が垣間見えました。

【委　　員】どの番組も地域の情報源として役に立っていると思う。「八百万の神」は自分の住んでいる地域の歴史を知る上で興味深い。また、無線中継を災害時の現場状況に活用してほしい。これからも地域に密着したコミュニティチャンネルに期待しています。

【ＣＡＴＶ】無線中継機は、災害時に迅速に使えるように、平時の活用を意識しています。また、多くの世代に好まれるような番組を今後も企画して参ります。少しでも多くの方にご加入いただけるよう、見たい・入りたいと思っていただける視聴者目線の番組づくりを心掛けて参ります。

【委　　員】板倉町には隣接している渡良瀬遊水地があり、ここはシーズンを通してアウトドア・自然観察にと多彩な所ですので取材をして頂き放送してほしいです。

【委　　員】町の広報紙でお知らせしている情報などを映像にし、職員が顔を出すことで、紙面だけでは伝わりにくい部分を補完することができたと思います。

【委　　員】コロナ禍でイベント等がない中で、様々な話題をとりあげていただき、深く感謝している。行政情報番組では、要望を聞いていただきながら、一緒になって番組を制作していただいているので、今後も継続していただきたい。

【ＣＡＴＶ】渡良瀬遊水地をはじめ、地元には地域の宝、魅力がたくさんあります。ケーブルテレビでは地元密着のメディアとして地域の皆様の声に耳を傾けながら、必要とされている情報を発信していけるよう引き続き努力して参ります。コミュニティチャンネルや各種サービスに関してお気付きの点がございましたら遠慮なくご指摘ください。今後も、放送・通信サービスを通じて安心で豊かな社会づくりに貢献して参ります。

以上